



Ⅱ. 基本構想



第1章

まちづくりの理念

まちづくりの理念は、本市が将来に向けたまちづくりを進めるにあたっての基本的な考え方を表すものです。

本市は、水と緑豊かな自然環境のもと、宿場町に代表される歴史と文化を継承し、確かな発展を遂げてきました。

また、新市施行後における地域の一体感の醸成、基盤づくりのための施策を着実に推進してきました。

第2次春日部市総合振興計画では、本市を取り巻く社会経済情勢の変化や新たな課題に的確に対応したまちづくりを推進していくため、まちづくりの理念を「**市民が主役**」「**まちの魅力を創る**」「**共に未来へチャレンジする**」とします。

市民が主役

まちづくりの主役は「市民※」です。すべての市民が、まちづくりについて考え、行動することで、だれもが笑顔で、いきいきと暮らしていけるまちづくりを進めます。

まちの魅力を創る

水と緑、歴史と文化を大切にしながら、新たなまちの魅力を創り出すことで、だれもが住んでみたい、住み続けたいと思えるような活気にあふれ個性豊かなまちづくりを進めます。

共に未来へ チャレンジする

未来を担う子どもたちが夢や希望をかなえられる都市として、持続・発展・躍進し続けるまちづくりを市民と行政が協働して進めます。



※「市民」とは…

本計画では、市内において、住み、働き、学び、又は活動する個人および団体を指しています。



第2章

まちの将来像

つながる にぎわう すまいるシティ 春日部

私たちは、これからの輝かしい未来を担う子どもたちに、魅力あふれる春日部を大切につなげていきます。

その未来には、たくさんの明るい「笑顔」が輝き、いきいきと暮らしている人々と魅力的なまちを行き交う多くの人で、活気にあふれていて、だれもが「住んでみたい、住み続けたい」と思うまちがあります。

このような、だれからでも「選ばれるまち」を築いていくことを目標に、本市が目指す将来像を「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」とします。

将来像の言葉にこめられた意味

つながる

「人と人」「世代と世代」「地域と地域」のつながり、まちの整備を進めることで新たにつながる「まちとまち」、これらのつながりを大切に育み、明るい未来へとつながる様子を意味しています。

にぎわう

まちの拠点である各駅周辺や商店街などに活気がある様子、市内外から多くの人を訪れ、楽しそうにまちを行き交う様子、四季折々の景色の中を子どもたちが元気に走りまわる姿を意味しています。

すまいる

だれもが「住んでみたい、住み続けたい」、春日部に「訪れたい、ずっと居たい」と思う魅力的なまちの姿と、多くの人の「笑顔」があふれ、人もまちもすべてがきらきらと輝いている様子を意味しています。

「すまいる」＝住まい＋居る＝「スマイル（笑顔）」

「すまいる」には、「住まい」と「居る」の意味が込められています。

春日部市に住む・居ることで、笑顔になるようなまちを目指します。



第3章

まちづくりの枠組み

本市の地勢は水と緑に恵まれた平坦な地形となっており、鉄道駅や幹線道路の周辺を中心として市街地が分布し、住宅や商業、工業などの都市的な土地利用を形成しています。また、市街地の郊外では緑豊かな農地が広がっています。

このような現状を踏まえ、将来の土地利用については、長期的な視野のもと、計画的かつ効率的な土地利用を誘導します。

(1) 土地利用の方針

*集約型都市構造の実現に向けて、各鉄道駅を中心としたコンパクトで質の高い市街地の形成を図ります。

住居系

- ・住居系については、利便性の高い中高層住宅とゆとりある低層住宅を計画的に誘導します。
- ・武里団地における団地再生や北春日部駅前における新市街地の整備を促進し、居住環境の整備を進めます。

商業・業務系

- ・商業・業務系については、春日部駅周辺および南桜井駅周辺において力強い中心商業地を形成します。
- ・春日部駅と南桜井駅を除く鉄道駅周辺では商業機能を、幹線道路の沿道においては業務機能を充実します。
- ・国道4号バイパス周辺については、*東埼玉道路の整備促進や産業機能を誘導するとともに、都市的土地利用への転換や新たな都市拠点づくりを検討します。

工業系

- ・工業系については、既存機能の維持・強化を図るとともに、立地の集約化に努めます。

自然系

- ・田園環境などの自然系については、優良な農地および自然環境や、住宅と農地が調和したゆとりある田園居住の環境を保全します。



（２）土地利用構想

本市の将来の都市構造は、各駅を中心とした生活圏の展開を基本とし、都市拠点の機能強化を図るとともに、道路などの整備拡張を進めます。また、職と住居が近接したコンパクトで魅力的なにぎわいのあるまちづくりを目指すため、新たな土地利用ゾーンの区域を検討します。

◇都市軸

- ・都市軸は、広域的な連携を担う広域幹線軸と、市街地の骨格を形成する環状軸および連携軸を中心とする道路ネットワークを形成します。
- ・春日部駅および南桜井駅の駅前通りをシンボル軸として位置づけます。
- ・江戸川、中川および大落古利根川を親水軸として位置づけます。

◇土地利用

■都市拠点（都心）ゾーン

- ・春日部駅周辺地区を都市拠点（都心）ゾーンとして、*連続立体交差事業により東西市街地の一体化を促進し中心市街地の活性化を図ります。また、本市の中核として、市全体を対象とする*高次都市機能が集積した、魅力ある快適な空間づくり、商業業務施設の集積など活力のあるまちづくりを図ります。

■都市拠点（副次）ゾーン

- ・南桜井駅周辺地区および武里駅周辺地区は、都市拠点（副次）ゾーンとして、多様な生活サービス機能を中心とした都市機能の維持・充実を図るとともに、地域生活の利便性や快適性の向上に資する商業環境の形成を図ります。
- ・医療、商業、教育等の豊富な*ストックを有する武里団地のポテンシャルを最大限に生かし、*UR都市機構と連携して多様な世代のニーズに対応した*リノベーションを推進します。

■地域拠点ゾーン・生活拠点ゾーン

- ・地域拠点ゾーン・生活拠点ゾーンの駅周辺地区は、*ライフスタイルの変化に対応し、日常生活の利便性を高める拠点的機能の充実を図ります。

■都市型住宅ゾーン

- ・地域拠点ゾーン・生活拠点ゾーンの周辺は、鉄道駅に近接したコンパクトな暮らし方の基礎となる都市型住宅ゾーンとして位置づけます。
- ・北春日部駅西側の*市街化調整区域については、住居系土地利用を中心とした新たな市街地整備を推進します。



■沿道ゾーン

- ・国道4号、国道16号、国道4号バイパス等*広域幹線道路等の沿道は、交通の利便性を生かした沿道利用の産業立地を誘導する沿道ゾーンとします。

■産業拠点ゾーン

- ・既存の工業団地や、国道4号バイパスと、国道16号との結節点周辺については産業拠点ゾーンとします。

■産業集積検討ゾーン

- ・新たな産業拠点に向け、国道4号バイパスや*東埼玉道路などの広域幹線道路の結節点周辺を、利便性を生かし、産業集積検討ゾーンとします。産業・流通系土地利用の推進に努めるとともに、*東武アーバンパークラインの複線化などの輸送力の増強やまちづくりの進展に合わせた新駅設置などを検討し、公共交通の強化・充実に努めます。

■田園・集落ゾーン

- ・市街地の郊外では、田園・集落ゾーンとして、良好な田園風景と自然環境の保全のため、積極的に農地の保全を図る農地・緑地保全ゾーンと、既存集落の生活環境の向上を図りつつ、周辺の田園環境と調和したまちづくりを進める田園居住ゾーンを配置します。



[illegible]

沿道ゾーン

第4章

まちづくりの基本目標

本市の将来像を実現するために、7つの「まちづくりの基本目標」を次のように定め、各種施策を総合的に進めていきます。



1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち



2 いつまでも健康でいきいきと暮らせるまち



3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち



4 恵まれた自然の中で安心安全に暮らせるまち



5 地域の資源を活かした魅力あふれるまち



6 人々が集い、にぎわいのある快適なまち



7 市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち





1 子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち



子育て・教育

安心して子どもを産み、子育てができるとともに、子どもが幸せに育つよう、地域や社会全体で子育てをする環境の整備を推進します。また、児童生徒一人ひとりを大切にしたい教育の充実と、学校環境の整備を推進するとともに、地域社会と協力して青少年の健全育成を推進し、子どもの*生きる力をはぐくむまちをつくりま

- 安心して子どもを産み、楽しく子育てできるまちをつくる
- *知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てるまちをつくる
- 思いやりの心と夢をもった青少年を育てるまちをつくる



2 いつまでも健康でいきいきと暮らせるまち

だれもが、住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう支援を充実させるとともに、地域で支え合う仕組みづくりを進めます。また、健康づくりや病気の予防に対する支援を推進するとともに、地域の医療体制の充実に努め、いつまでも健康に暮らすことができるまちをつくりま

- 高齢者が安心していきいきと暮らせるまちをつくる
- 障がい者（児）が自立して暮らせるまちをつくる
- 共に支えあい自立して暮らせるまちをつくる
- いつまでも健康に暮らせるまちをつくる



福祉・保健・医療



3 市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち

一人ひとりの個性と人権が尊重されるよう努めるとともに、市民と行政との*協働を進め、地域活動を通じたコミュニティの育成・支援を推進します。また、多様な学習活動の支援を行うとともに、文化・芸術やスポーツ・レクリエーションの振興を図り、だれもが生きがいを持ち、いつでも学べるまちをつくりま



市民参加・文化・スポーツ

- 市民と行政が協働し、コミュニティの輪が広がるまちをつくる
- 一人ひとりの個性と人権が尊重されるまちをつくる
- だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくる
- 文化・芸術や郷土の歴史を大切にするまちをつくる
- スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくる





4 恵まれた自然の中で安心安全に暮らせるまち

人と自然が共生した地球環境にやさしいまちづくりを目指して、市民一人ひとりが環境に配慮した行動を実践するとともに、「いざ」という時のために、互いに声をかけ合い、地域で助けあえる仕組づくりを構築し、関係機関との連携による防災力、防犯力を高め、だれもが安心安全に暮らせるまちをつくれます。

- 環境にやさしいまちをつくる
- 地域と共に災害に強いまちをつくる
- 犯罪や事故のない安全に暮らせるまちをつくる



環境・防災・生活



5 地域の資源を活かした魅力あふれるまち



観光・産業・経済

豊かな自然や歴史、文化などの地域資源を有効に活用し、新たな観光の創出に努めるとともに、企業誘致や起業支援を推進し、人材育成や経営支援等の活性化対策を進め、さらに水田や畑、果樹園などの多くの優良農地と大消費地に立地する優位性を活かした交流と賑わいのある魅力あふれるまちをつくれます。

- 魅力を活かし、人が集まるまちをつくる
- 新たな仕事を生み出し、働きやすいまちをつくる
- 商工業がさかんなまちをつくる
- 安全で、おいしい農産物のあるまちをつくる





6 人々が集い、にぎわいのある快適なまち

道路や公園など、都市機能の計画的な整備や維持管理を適切に行います。さらに、春日部駅周辺や地域の中心となる各駅周辺の整備を推進するとともに、計画的な土地利用や便利に利用できる公共交通ネットワークの形成を図ることで、にぎわいのある快適なまちをつくります。



都市基盤

- 鉄道駅を中心とした魅力あるまちをつくる
- 地域の特色を生かした選ばれるまちをつくる
- 公共交通を便利に利用できるまちをつくる
- 活力ある都市基盤を将来につなげるまちをつくる
- 安定した水供給と適切な水処理ができるまちをつくる



7 市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち

社会情勢の変化に対応できるよう、*ICTの活用や*シティセールス・広報を推進し、戦略的、計画的な行政運営を進めます。また、財政基盤の強化を図り、未来を見据えた計画的な財政運営を行うとともに、市民ニーズを的確に把握し、窓口サービスの向上や職員の育成に努めることで、市民の期待に応え、信頼される行政を推進します。

- 戦略的な行政運営をすすめる
- 安定した財政運営をすすめる
- 身近で信頼される市役所づくりをすすめる



行財政

